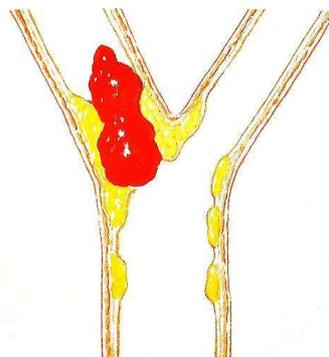


## 脳梗塞：こんな症状が危険信号！

### 1. はじめに

脳梗塞は脳を栄養する動脈が詰まり、その部分の脳細胞が障害されて起こる病気です。その症状や程度は人により様々ですが、ある日突然症状が出現することが多いのもこの病気の特徴です。そして、この脳梗塞の後遺症を最小限に食い止めるために最も大切なことは、発症後できるだけ早く専門病院で治療を開始することです。



(Netter F.H.:The CIBA collection より引用)

### 2. 脳梗塞の症状

脳梗塞をはじめとする脳卒中では、何の前ぶれもなく発病することが多いといわれています。そのなかで、脳梗塞の可能性のある症状とは



(三菱ウェルファーマ株式会社：寺山靖夫監修)

- ・ 急に手足の動きが悪くなった
- ・ 急に片方の手足や顔のしびれが起こった
- ・ 急に呂律が回らなくなったり、言葉が出にくくなった
- ・ 急に片方の目が見えなくなった
- ・ 急にめまいがして体のバランスがとれなくなった
- ・ 急に意識がなくなり倒れてしまった

などがあります。(なお、脳出血も同様の症状を起こすことが多いです。)

このように脳梗塞の症状はさまざまですが、「脳の症状」であるかどうかの大きなポイントとしては

- ・ 突然の症状
- ・ 麻痺やしびれは半身(右手足とか左手足)に出る。(両手や両足といった両方に出る症状は脳が原因ではないことが多い。)
- ・ 言語障害など「首より上の症状」がある

などの点が重要で、これらの症状があるときにはまず脳梗塞を疑ってください。

### 3. 前兆症状の特徴は？

また、ときに**前兆症状**で発病することがあり、その場合には前兆症状のみの段階で病院を受診し治療を受けることができれば、本物の脳梗塞を防ぐことが可能です。前兆症状の特徴は、

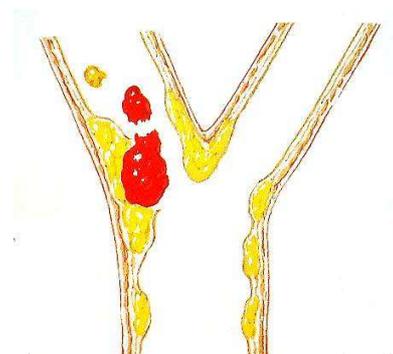
- ・ 症状が**数分～数時間**で消失してしまった
- ・ 症状が短時間であるが**繰り返して起こる**

という一過性の症状の時には脳梗塞の「前兆」である可能性が高いと考えられます（一過性脳虚血発作：TIA といいます）。

### 3. 「脳梗塞の前兆かな？」と思ったら

脳梗塞の前兆症状は、詰まりかかった血管がすぐに再開通したため、症状が急速に改善して「前兆」で済んだだけと言えます。しかし、いつ同じことが起こり血管が再び詰まってしまうかもしれません。そのため、早めの専門病院への受診が必要です。

とくに症状が短時間で消失してしまった時には要注意です。「たいしたことはなかった」と安心して病院を受診しなかったために、あとでひどい脳梗塞になってしまった人もたくさんいます。



(Netter F.H. The CIBA collection より引用)

**脳の症状は短時間で治ってもすぐに病院へ！**

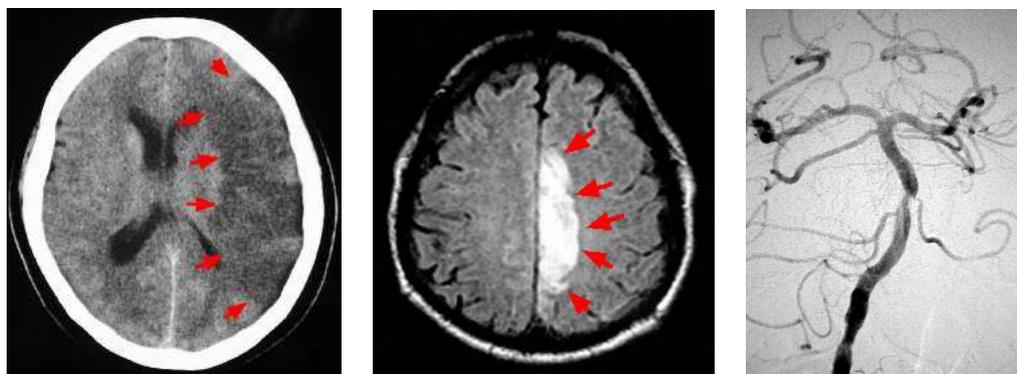
前兆症状のみのうちに病院へすぐ受診してください。脳卒中を担当するおもな診療科は、脳神経外科・神経内科・循環器科・老年科などです。当院ではおもに脳神経外科が担当しています。

### 4. 病院での検査と治療

脳梗塞の疑いがあるとき、診察のあと検査を行います。

- ・ **CT 検査**：レントゲンで脳の断層写真をとります。短時間にすぐに検査でき、また脳出血やくも膜出血との鑑別を行います。
- ・ **MRI 検査**：磁石の力で脳の断層写真を撮ります。CT より細部まで診断でき、また脳の動脈や血液循環の検査もできます。

- **血管撮影検査**：カテーテルから造影剤を動脈内に注入してレントゲンを撮る、脳血管の最も詳しい精密検査です。



(左から頭部 CT, MRI 検査、脳血管撮影検査)

病院では、以上のような検査を行って脳梗塞の診断や流れの悪くなった血管を診断してゆきます。その結果、脳梗塞が発生している、もしくは発生の危険性が高い場合には以下のような治療を行います。

- **内服薬**：アスピリンなど血管が詰まりにくくする薬を使います。
- **点滴治療**：脳梗塞が発生してしまっている場合には、梗塞の拡大防止のために脳の血流を良くする点滴で治療します。
- 最近、**t-PA** という脳梗塞に効果の高い点滴薬が使用できるようになりましたが、この薬が使えるのは発症して 3 時間以内のみと決められています。
- **手術・カテーテル治療**：詰まりかかった血管を通したり、脳の血流を補うために手術やカテーテルやバルーン（風船）による治療が必要になることもあります。
- **リハビリテーション**：麻痺や言語障害などの症状に対して上記の治療に併せてリハビリテーションを行います。

## 5. 早期受診で早期治療を

このように脳梗塞の治療には、早期受診と早期の治療開始が重要です。とくに t-PA は発症 3 時間以内にしか使えません。「脳卒中かも？」と思ったら、どんなに軽症でも油断せずに、できるだけ早く病院を受診してください。